



令和5年度 奥沢小学校グランドデザイン

学校教育目標 : 夢をはぐくむ奥沢小学校
深く学び伝えあう子 なかよくやさしい子 たくましくやりぬく子

重点目標 : みんな笑顔で **ぽっかぽか** **進んで行動** おくさわの子

めざす
子ども像

- 自ら学び、自ら表現（あいさつ）し、ねばり強く取り組む。
- 自分のよさを発揮し、お互いに認め合い、高め合う。

学校経営の重点：組織を機能させ、協働して持続可能な「奥沢スタイル」を確立する

- ・子どもが主役の学校づくり
- ・家庭・地域・中学校と連携する学校づくり
- ・教職員が協働の意識を高め、保護者地域の信頼に応える学校づくり

キーワード : 協働・連携 ほめる・認める・価値づける

目指す学校づくり

- ◆安心・安全・信頼
- ◆組織的・協働的・機動的（感染症対応）
- ◆ICT等の環境整備、積極的活用
- ◆教育の質の向上
※業務のスリム化・効率化、教科担任制等
- ◆小中一貫教育の推進

目指す教師像

※教師自らあいさつ！

- ◆教育公務員としての自覚、責任
- ◆ほめる、認める、価値づける姿勢
- ◆厳しく毅然とした態度
- ◆積極的な研修会への参加
- ◆3月の具体的な子ども像をイメージした学級経営



学びづくり

- ①確かな学力の育成
 - ・奥沢スタイルの授業づくり
 - ◎主体的・対話的で深い学び
 - ・算数科を柱にした校内研修
 - ・基礎基本と学習規律の徹底指導
 - ・補充学習と学習習慣の確立
- ※タブレット等ICT機器の積極的活用
- ②特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインの推進
 - ・個別指導計画・支援計画の活用
 - ・校内組織の活性化・関係機関との連携
- ③国際理解教育の充実
 - ・外国語科での外部講師の活用
- ④理数教育の充実
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・専科教諭の活用
- ⑤情報教育の充実
 - ・情報モラル教育・プログラミング教育
- ⑥キャリア教育の充実
 - ・外部講師、施設の有効活用

心づくり

- ①コミュニケーション能力の育成
 - ・対話を取り入れた授業づくり
 - ・意図的・計画的な表現の場づくり
- ②道徳教育の充実
 - ・考え議論する道徳の授業づくり
 - ・情報モラル教室・人権教室等の実施
- ③ふるさと教育の推進
 - ・外部講師や施設を活用した体験学習の重視
 - ・「小樽の歴史」等の有効活用
- ④読書習慣の確立
 - ・朝読書、図書館整備等の実施
 - ・市立図書館との連携
 - ・図書ボランティアの活用
- ⑤いじめ防止・不登校支援の充実
 - ・いじめ防止キャンペーンの実施
 - ・「ほっと」を活用した児童理解の強化
 - ・児童会主催の取組（あいさつ運動等）
 - ・s s w、s c との連携

体づくり

- ①体力・運動能力の向上
 - ・新体力テストの実施と有効活用
 - ・運動量確保を目指した授業改善
 - ・外遊びの推奨と遠足等の実施
- ②食育の推進
 - ・栄養教諭を中心とした授業づくり
 - ・知産志食の取組
 - ・保護者と連携した望ましい食習慣の育成
- ③健康教育の推進
 - ・薬物乱用防止教室等の実施
 - ・アレルギー対応の情報共有
- ④学校安全教育の充実
 - ・感染症対策の徹底
 - ・防災訓練、防犯教室等の実施
 - ・集団下校訓練の実施
 - ・安心メールの有効活用
 - ・校内・校区内の危険個所の把握



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）
～ 保護者・地域によるボランティア活動 ～

図書ボランティア

安全ボランティア

学習ボランティア

行事ボランティア